

会長ごあいさつ



公益財団法人神奈川県スポーツ協会

会長 ^{おおとり} 鴻 ^{よし ひさ} 義 久

初めに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、罹患された方々及び感染症拡大により困難な生活環境におられる皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、過酷な状況下において活動されている医療従事者をはじめ、感染防止に奮励されている方々、社会や生活の安定に必要な事業に携わられている方々のご尽力に心より感謝申し上げます。

加盟団体をはじめ関係者の皆様には、日頃から本県のスポーツ振興及び本会の諸事業に対し多大なご支援とご協力を賜り衷心よりお礼申し上げます。

さて、8月5日の第2回理事会において令和2・3年度の公益財団法人神奈川県スポーツ協会会長に推薦され承認をいただき、会長4期目を迎えました鴻 義久でございます。

4期目を迎えました今期は、会長としての集大成を果たす所存でございますので、どうぞよろしく願いいたします。

本会は、本年4月から名称を「神奈川県スポーツ協会」と変更しました。また、4期目となる5年間の県立スポーツ会館指定管理者業務

も受諾し、職員一同、初心に戻って新たなスタートを切ろうと意気込んでいた矢先に、新型コロナウイルスの蔓延という予期せぬ事態となり、それまで右肩上がりのスポーツ界を一変させる事態と遭遇しております。

前代未聞の五輪の延期に始まり、鹿児島国体や日本マスターズ大会、高校総体、全国中学大会等、国内の主要な大会の多くが中止・延期に追い込まれました。また、本県は8年に一度巡ってくる国体関東ブロック大会の当番県でしたが、コロナ禍での鹿児島国体延期に伴いブロック大会も中止となりました。

世界、あるいは国内大会の頂点を目指して真摯に練習に打ち込んできたアスリート達にとって、無念のシーズンとなってしまいました。

こうした中、国内の経済状況も今後厳しさを増し、大会開催に伴う企業協賛等も厳しくなる事が予想されます。まさにスポーツ界の置かれている現状は大変厳しく、正念場だと思っています。

こうした中、来年の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を強く願うと共に、選手並びに競技団体関係の皆さんには、国体をはじめ各種大会に向けて、戦略を練り直し、じっくりと競技力向上に取り組んでいただき、いつの日かこの暗い霧が晴れた時に、再び元気な姿を見せていただけるよう、万全の状態を維持していただければと考えております。

また、各市町村体育・スポーツ協会並びにスポーツ少年団の皆様におかれましても、大変厳しい状況がしばらく続きますが、「チーム神奈川」の合言葉のもとに、一致団結して対処し、多くの県民の方々がスポーツに親しみ、魅力、そして活力ある「かながわ」創生に向けて、関係者の皆様の尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。